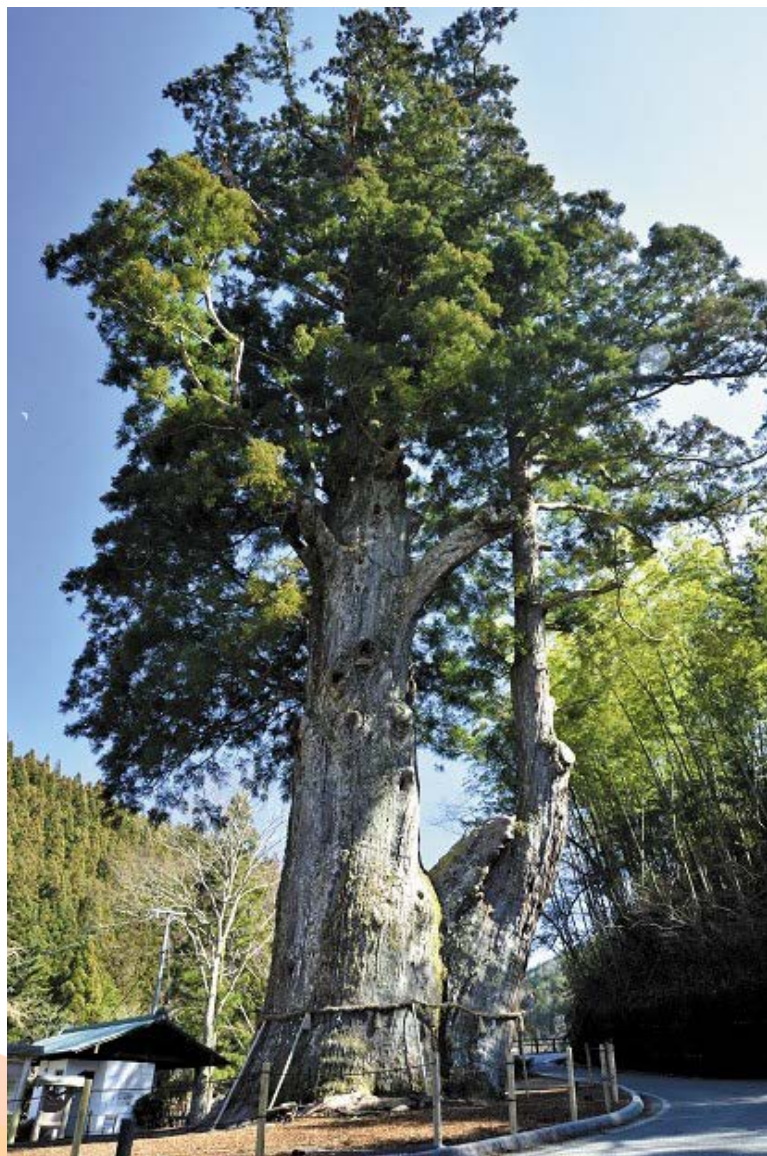


<b>地方公共団体</b>	<b>長野県下伊那郡根羽村</b>
<b>所在地</b>	長野県下伊那郡根羽村2131-1
<b>地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿</b>	矢作川流域では、自動車産業の進展により低炭素社会の実現を目指す下流域と、林業を振興し、山林の適切な維持管理に努めてきた源流域との間で古くから交流が行われきたが、流域全ての地域で適切な環境保全活動と経済活動が持続的に維持され、全ての流域に人が住み続け、流域全体で自然環境保全に取り組む地域を目指します。
<b>地域の現状・課題</b>	長野県の最南端に位置し、愛知県と岐阜県に接する根羽村は総面積89.97km <sup>2</sup> のうち94%を山林が占め古くから林業を基幹産業としてきた。人口は昭和32年の3,282人をピークに減少の一途をたどり平成27年には970人にまで減少し、高齢化率は50%を超えます。愛知県に注ぐ「矢作川」に源流になる当地域では林業振興により適切な山林の維持管理が行われてきましたが、人口減少、少子高齢化の進行による後継者・担い手の不足が顕著で、自然環境と国土の保全を持続させるため、引き続き地域に人が住み続けなければならない。
<b>地域が持つ資源</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下流域の自治体、団体の所有する山林を含め、村内のほぼ全域でFM認証を取得した山林</li> <li>・COC認証を取得した村単独の森林組合</li> <li>・豊かな山林から生まれる希少種も生息する清流</li> <li>・地域を守る元気な高齢者。</li> </ul>
<b>取組内容</b>	矢作川流域全体を一つの共生圏として捉え「上流域で産出する木材の下流域での使用」「上流域の仕事にできるような環境学習、森林ツーリズムの実施」等、下流域住民の理解・協力を得て、上流域の地域資源を最大限に活用した上で、流域圏内で経済を循環させ、流域全体で担い手を確保し、人が住み続けられる仕組みの検討、実現を目指す。
<b>地域循環共生圏を実践することで想定される効果</b>	<p>(環境) 経済性と持続性を伴った取組を流域全体で進めることにより、源流地域の山林の適切な維持管理により豊かな山林から生み出される水、空気を維持し、国土保全にも大きく寄与する。</p> <p>(経済) 人口減少、少子高齢化が進む源流地域で、上下流域一体となって経済性を有した取組を進めることにより、中山間地域で「新たな仕事」を創出し、流域全ての地域に人が住み続けられる。</p> <p>(社会) 地球温暖化はもちろん、森林の焼失等、全世界で環境問題が大きくなる中、身近にある水、空気を守る森林の重要性を全世代に認識してもらい、環境保全への取組みの一助とする。</p>



樹齡1,800年 月瀬の大杉



山並み



間伐作業